


SDガンダム GNEXT

【えすでいーがんだむ じーねくすと】

ジャンル	ウォー・シミュレーションゲーム	 高解像度で見ると裏を見る
対応機種	スーパーファミコン	
発売元	バンダイ	
開発元	日本アートメディア ヴァンガード	
発売日	1995年12月22日	
定価	8,980円（税込）	
分類	クソゲー判定	
SDガンダムシリーズリンク		

- ▶ [概要](#)
- ▶ [問題点](#)
- ▶ [総評](#)
- ▶ [その他](#)

概要

ガシャポン戦士シリーズの流れを受け継いだゲームシリーズ第3弾。
ユニット大量追加、さらに広大、多様になったマップ、シナリオモード導入、最大4勢力に分かれての戦闘etcと説明だけ見るとシリーズ集大成の神ゲーに見える。
しかし、その実態は欠点塗れの苛々ゲーであった。

問題点

- ▶ 非常に低レベルなCPU。
 - ▶ 初期配置からほとんど動かない。動いても勢力を猿団子のごとく球状に密集する作業をひたすら繰り返す。
 - ▶ 前作と違い、コロニーレーザーに狙われてもまったく動かない(ボス含む)。
 - ▶ 戦艦は艦載機の出し入れを繰り返すという無意味な行動にひたすら終始する。
 - ▶ さらに艦載機を搭載しつつ特攻をかけるという自殺行為まで頻繁にやらかす(当然中身は行動済なので次ターンまで再出撃不能)。
 - ▶ 高額ユニット(主に戦艦)をひたすら生産し続け、常に金欠になる。
 - ▶ 同盟を組んでも即座に裏切る。
 - ▶ 廃コロニー、小惑星などのオブジェクトを一切動かさない(これにより破綻する逆シャアシナリオと0083シナリオetc)。
 - ▶ 宇宙(または地上)の生産拠点で、移動適性が無く出撃不可能なユニットを作って拠点を潰す(*1)。
 - ▶ 戦闘でも「拘束系の武器に自ら突っ込む」「脱出してもまた突っ込む」「敵を救出する」など無茶苦茶。

- ▶ 厳しすぎるユニット制限(MS/MA:60、戦艦:20、計80)。マップは広大なのに動けるユニットは少ない。
- ▶ 存在意義の分からない「MS生産リストのパスワード」。
- ▶ 無意味に細分化しすぎな生産レベル。
- ▶ サテラビューからデータを受信しないと、ウイングガンダム以外の『ガンダムW』のMSは一切ゲーム中には登場しない。
 - ▶ 後にこのデータが入ったメモリーパックが別売されたが、Sガンダムなど一部のMSが差し替えられている。
 - ▶ このメモリーパック、とりたてて人気があるわけでもないソフトの追加アイテムであるせいか出回りが良くなかった。
 - ▶ サテラビューではゲーム雑誌の企画と連動したオリジナルMSも追加されたが、『ファミ通』からは当時の編集長である浜村弘一が「浜村通信」という名前で参戦(参照)。
 - ▶ 『ファミマガ』のオリジナルMSは読者公募作だったというのに『ファミ通』は…。
- ▶ 何故か艦載数が2機に減ったサラミス。運用しづらい以前に設定無視。
- ▶ 戦艦が弱すぎる。レベルを最大にまで上げた高価格ユニットでもなければ1回の戦闘にも耐えられないことが多い。
 - ▶ この方がリアルでいいという擁護意見もあるが、戦艦の9割が1回の戦闘すら切り抜けれないようなリアルがあつてたまるか。そもそもゲームに支障をきたすようなリアリティは必要ない。
 - ▶ キャンペーンモードではMSの数はおろか性能差も大きいので、敵の高性能機は「戦艦に戻ったところを落とす」という戦い方が基本となる。
- ▶ いらなすぎる3D戦闘&主観戦闘。これが戦艦虐殺ゲーに拍車をかける。
 - ▶ 前作でも割と微妙だった対艦戦だが、さらに劣化した。
- ▶ セーブデータが1つしかない。前作では2つあったのに。
- ▶ 前作まで豊富だった戦闘曲は削られまくって地上、月面、宇宙のたったの3曲。
 - ▶ その代わりに、フェーズテーマが前作までの5曲からチーム分の13曲まで大幅に増加。良曲多し。
- ▶ 様々な武装をもつ機体が揃っているにも関わらず、戦闘時の武器性能には差がほとんど無い。
- ▶ 一応対人戦ならそこそこ遊べるという評価もあるが、不便な部分から目を逸らす事ができなければ楽しめないのので少々キツイ。
- ▶ 後にさらに要素を追加した続編『SDガンダム G-CENTURY』がPSで発売されたが、その出来は…。

総評

様々な要素が追加されたりと基本的にはかなり進化しているし、そこは評価できる。

しかし、粗が多く、しかもその悉くがプレイヤーのストレスに繋がる。何よりもポンコツCPUはフォローのしようがなく「これさえ無ければ」と惜しむ声が多い。

CPUの劣悪さが全てを台無しにしたといっても過言ではない。

その他

- ▶ こんな出来だった為、前作『GX』がシリーズ最高傑作と呼ばれる。
- ▶ グレーな話題になるが、本作の出来に納得できなかった者たちによって一時期ネット上で改造計画がいくつか立ち上がり、実際に改造データが出回っていたこともあった。